

■大宮の未来を考えるワークショップの検討成果

◇グループ編成と検討テーマ

- 第1回では5つのテーマを抽出し、参加者の皆さんに希望するグループを選んでいただいたところ、「E：大宮の居住環境」を希望する方が少なかったため、このテーマについてはCの中で取り扱うこととなりました。

Aグループ：エリア内の交通全般

*駅周辺の様々な交通問題を考える

例えば…

- ・自動車、歩行者のネットワークをどうするか？
- ・どのような道路空間がふさわしいか？
- ・バス、タクシー、自転車等の交通手段のあり方は？

Bグループ：大宮駅と街との関係

*人の流れが駅から外に広がらないのはなぜかを考える

例えば…

- ・駅と街との良い関係をつくるには？
- ・駅舎、駅前広場、東西連絡をどう考えるか？
- ・エキナカよりも周辺で買い物してもらうには？

Cグループ：商店街・再開発のあり方

*街の魅力づくりから事業性まで、様々な角度から考える

例えば…

- ・それぞれの商店街としての特徴を出していくには？
- ・どのようにすれば活性化するか？
- ・再開発以外の手法の可能性は？
- ・大宮駅周辺地域にどのような人が住み、働くか？

Dグループ：氷川とその周辺の活かし方

*氷川神社、大宮公園、氷川参道など、顔づくりに重要な資源を活かすにはどうしたらよいかを考える

例えば…

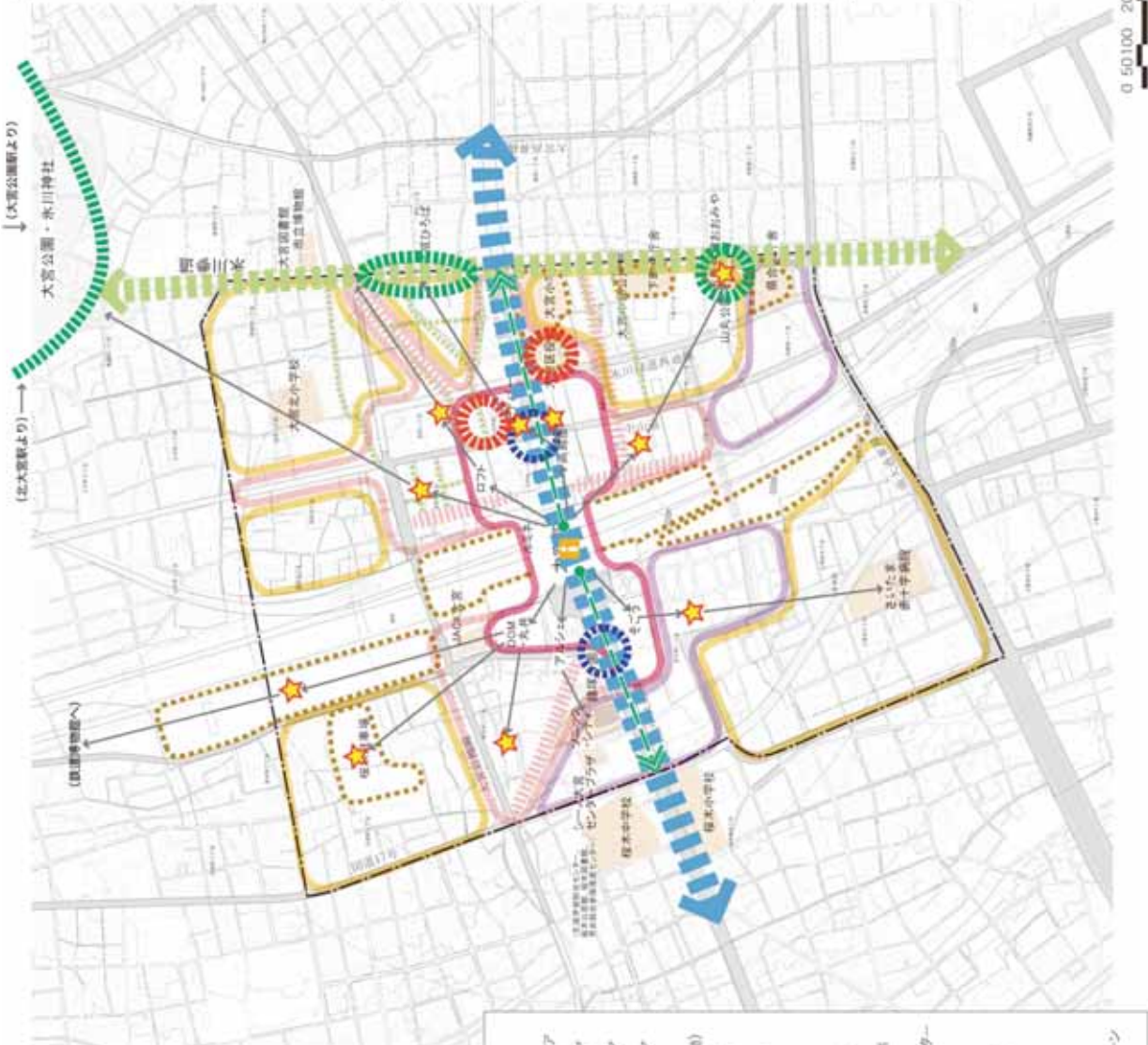
- ・どのようなことをすれば人を呼び寄せられるか？
- ・駅や商店街から「氷川」に来られるようにするには？
- ・広域の緑資源（見沼田圃など）とどのようにつなげるか？

<共通キーワード>

- ・観光
- ・景観
- ・緑、エコ
- ・オンリーワン
- ・広域連携

◇まちづくりコンセプト【集成版】

※「まちづくりコンセプト【集成版】」は、各グループの検討をベースに、全体アシアリテーターが共通的に取り上げた方が良くないと判断したものを抽出し、「土地利用編」と「交通編」に分けて整理・補足した図



土地利用編

●各地区の特性に応じたエリア設定

- ・駅の周辺に高度な商業を集積させて、駅から歩かず人を受け取るエリアを形成する
- ・様々な利用者に応じた商業中心の複合エリアを形成し、商業大宮としてのふとところを拡げる
- ・商業中心の複合エリアを形成し、さいたま新都心のつながりと役割分担を図る
- ・生活中心の複合エリアを形成し、快適な住環境をつくる

●高次な都市機能を備えた都心

- ・「東口市街地再生拠点」を位置づけて今の大宮に不足している高次の機能（駅、飲食店、商業施設のホテルやコンベンション等）を導入する

●駅から駅前へ、駅前から街中へ

- ・駅から降りてすぐの所に「都心の活まり広場」を創出し、都心のアクサセン（アイキヤッチャ）、駅周辺に不足している広場空間を確保する
- ・駅にインフォメーションセンターを設置し、大宮情報を発信する
- ・街の回遊動線上に魅力創出施設を配置する
- ・特徴のある商店街を活かす
- ・大宮の特徴である路地を歩いて楽しい空間として再整備し、大宮らしさとしてPRする

●都市活動を支えるシンボル軸

- ・東西のシンボル軸を形成する
- ・駅からの眺望の軸線を確保する

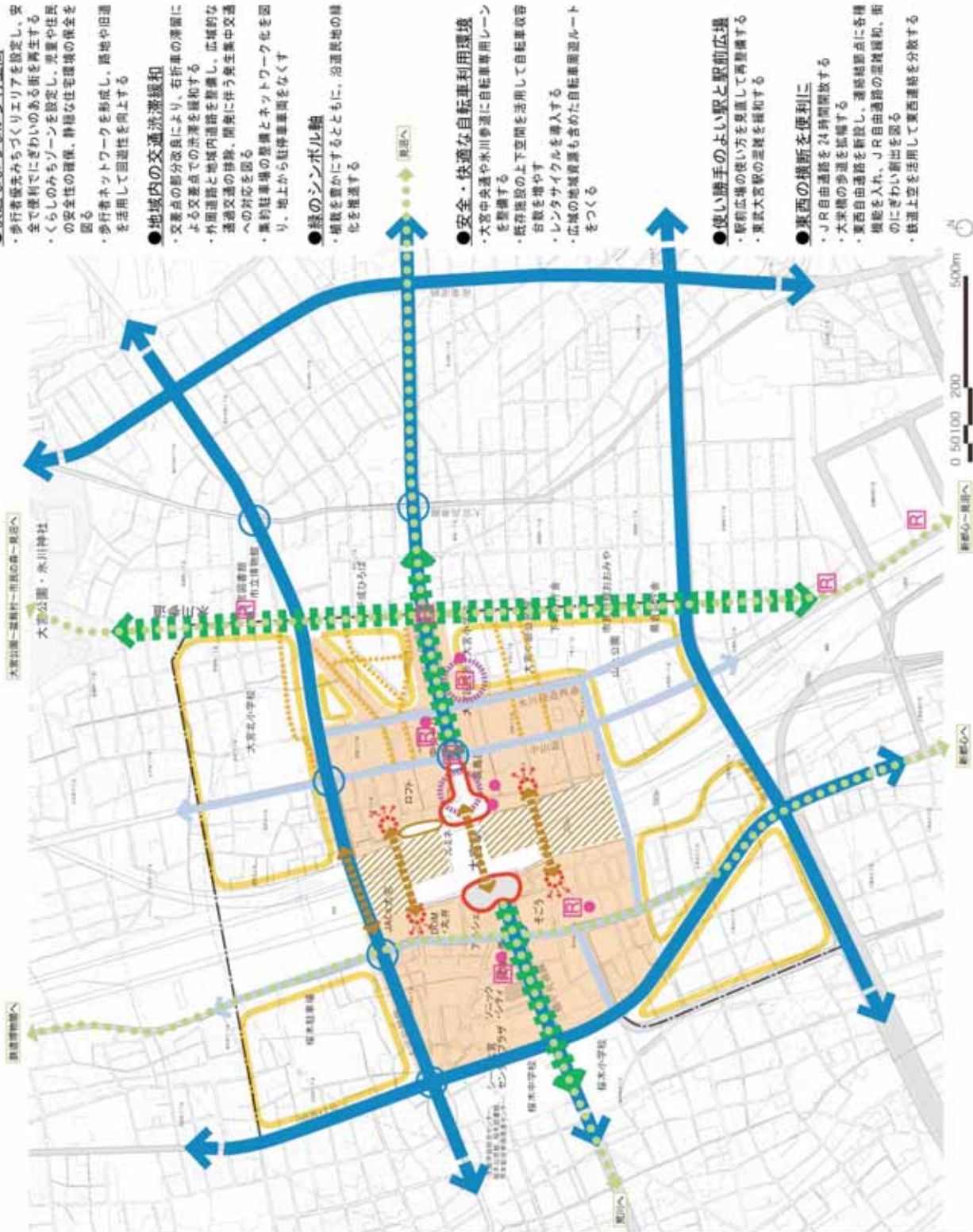
●米川を活用したおもしろいまちづくり

- ・米川歩道歴史文化軸を形成して沿道環境を保全する
- ・大宮公園、平成ひろば、市民会館を「米川のおもしろい拠点」として活用・整備する

●公共施設用地等を活用したまちづくり促進

- ・大宮区役所や米川歩道沿道の公共施設用地、都大駐車場、鉄道駅などの大規模用地の活用方法を検討して、大宮のまちづくりを促進する

交通編



●快道なまちなか歩行空間

- 歩行者優先みちづくりエリアを設定し、安全で便利でにぎわいのある街を創生する
- くらしのみちゾーンを設定し、児童や住民の安全性の確保、静穏な住宅環境の創生を図る
- 歩行者ネットワークを創成し、路地や旧道を活用して回遊性を向上する

●地域内の交通渋滞緩和

- 交差点の部分改良により、右折車の滞留による交差点での渋滞を緩和する
- 外周道路と地域内道路を整備し、広域的な通過交通の確保、開発に伴う発生集中交通への対応を図る
- 集約駐車場の整備とネットワーク化を図り、地上から駐停車空間をなくす

●緑のシンボル軸

- 緑を軸かにするとともに、沿道民地の緑化を推進する

●安全・快適な自転車利用環境

- 大宮中央通や氷川歩道に自転車専用レーンを整備する
- 既存施設の上下空間を活用して自転車収容台数を増やす
- レンタサイクルを導入する
- 広域の地域資源も含めた自転車専用ルートをつくる

●使い勝手のよい駅と駅前広場

- 駅前広場の使い方を見直し再整備する
- 東武大宮駅の混雑を緩和する

●東西の横断を便利に

- JR自由通路を24時間開放する
- 大宮橋の歩道を拡幅する
- 東西自由通路を新設し、連絡結節点に各種機能を入れ、JR自由通路の混雑緩和、街のにぎわい創出を図る
- 鉄道上空を活用して東西連絡を分岐する



◇実現化に向けた検討

※第 5 回における各グループの検討結果をふまえて、全体ファシリテーターが整理したものを

「優先」の考え方

◇大宮らしくありたい!

- ・大宮は「鉄道のまち」であり、歩行者を優先すべき(車のまちではない) [A]
- ・街の顔、玄関である駅とその近隣の整備が重要 [B]
- ・駅だけでなく、重要な資源である参道とその周辺の資源を活かす [D]

◇すぐに直したい!

- ・東武大宮駅や自由通路がラッシュ時の混雑が激しく危険 [B]
- ・駐輪場が不足している [B]
- ・地元の人たちのまちづくりへの意識に差がある [C-1]
- ・水川参道に通過交通が集中していて、駅境でも悪影響がある [D]

◇まちを活気づけたい!

- ・単なる交通結節点ではなく、目的を持って来てもらう場所というイメージを持たせる [B]
- ・まち全体に人の流れが生まれることで、まちが活気づく [D]

◇早く効果を出したい!

- ・リニューアルやお金のかわからないことからやる [A, C-2]
- ・すぐに効果が出て、まちのイメージを変えられることから取り組む [C-1]

◇やる気を起こしたい!

- ・まちが変わる事例を示すことで、みんながかわてる、やる気になる [C-1, C-2]

優先したい取り組み

■歩くことを大事にした空間をつくる

- 歩行者優先エリアを設定する(大宮駅を中心に 500~700m くらいの範囲) [A]
- 明るくてセンスの良い照明や看板、商品等の占用物を撤去する [A]
- 路上上の障害物(沿道商店の看板、商品等の占用物)を整備する [A]
- 放置自転車への対策を行う(ななめ駐輪、駐輪場の整備) [A, C-1]
- 路地の個性を演出し、周知する(路地の命名、案内表示の設置) [A]
- 東西横断を改善する(自由通路の 24 時間開放、線路上空間を活用して通路と改札を新設し混雑を分散) [A, B]
- 通過交通を入れないように幹線道路の車道を縮小する(中山道と水川緑道西通線の相互一方通行化の社会実験) [A]
- 水川参道を歩行者専用道路に向けて水川緑道西通線を早期に整備する [D]

■自転車利用も改善する

- 自転車レーンを整備する(大宮中央通、大栄橋) [A]
- 自転車レーンを周知啓発する [A]
- 駐輪場を整備する(東口駅前広場や大宮中央通の地下空間の活用、アーケードをなくした親睦通り商店街) [B, C-1]

■まず駅と駅前をまちの玄関にふさわしい空間にする

- 東武大宮駅の改札口を新設する(周辺地区や鉄道事業者を巻き込んだ再開発) [B]
- 駅前から街に出る動線がスムーズにする [B]
- 駅前広場を周辺街区と一体的に整備し、高容積の商業集積エリアを形成する [C-2]

■新たな大宮のシンボルとなる通りをつくる

- 大宮中央通に緑道を創出し、かつこい緑のメインストリートにする [A, C-2]
- 水川参道をやすらぎのある空間にする(歩行者専用化、水のせせらぎの創出) [D]

■目的を持って来てもらえるような施設や拠点を つくる

- 情報発信と集客の拠点として NHK を導入する [C-2]
- 現状のまちに不足している施設を導入する(バス駐車場やバスターミナル、レンタサイクル等の交通施設、コンベンションホール、貸ホール、貸会議室、演芸場、大型家具店、アウトレット等) [C-2]
- まちの回遊を促すような場所を主要施設の配置場所として選定する [B]
- 平成ひろばで定期市を開催する [D]
- 市民会館をおみやげ芸術館にする [D]
- みんなが集う大宮小学校にする [D]

■公共施設用地をまちづくりに上手に使う

- 大宮 2 丁目の市有地を活用して街を再編する [C-1]
- 大宮小学校を含め、区役所、市民会館等を再編する [C-1, C-2]
- まちづくり組織のモデルを構築し、各地区にノウハウを提供する [C-2]
- エコ・モデルとしての取り組みを実現する [C-2]
- 区役所用地や小学校の地下をまちづくりに活用する [C-2]

実現するために必要なこと

★共に取り組む体制づくり

- ・鉄道事業者と共にまちづくりに取り組む(大宮は鉄道のまち) [B]
- ・市民と行政と事業者が、一緒に、積極的に、まちづくりに取り組み [C-1, C-2]
- ・合意形成を促進させるような「熱い人材」を育てる [C-1]
- ・マネジメントを行う再生機動的な組織をつくる [C-2]
- ・地域のまちづくり情報を把握しながら継続的に活動できるような体制をつくる [C-2]

★大宮らしいルールづくり

- ・地権者それぞれが身の丈にあった再開発を進めるために、土地利用のルールや性格を決めておく [C-1]
- ・安全安心なまちをつくるための行政指導(消防、建築、道路など)を強化する [C-1]
- ・ヒートアイランド対策として、壁面や屋上の緑化等に関する決めごとをつくる [C-1]

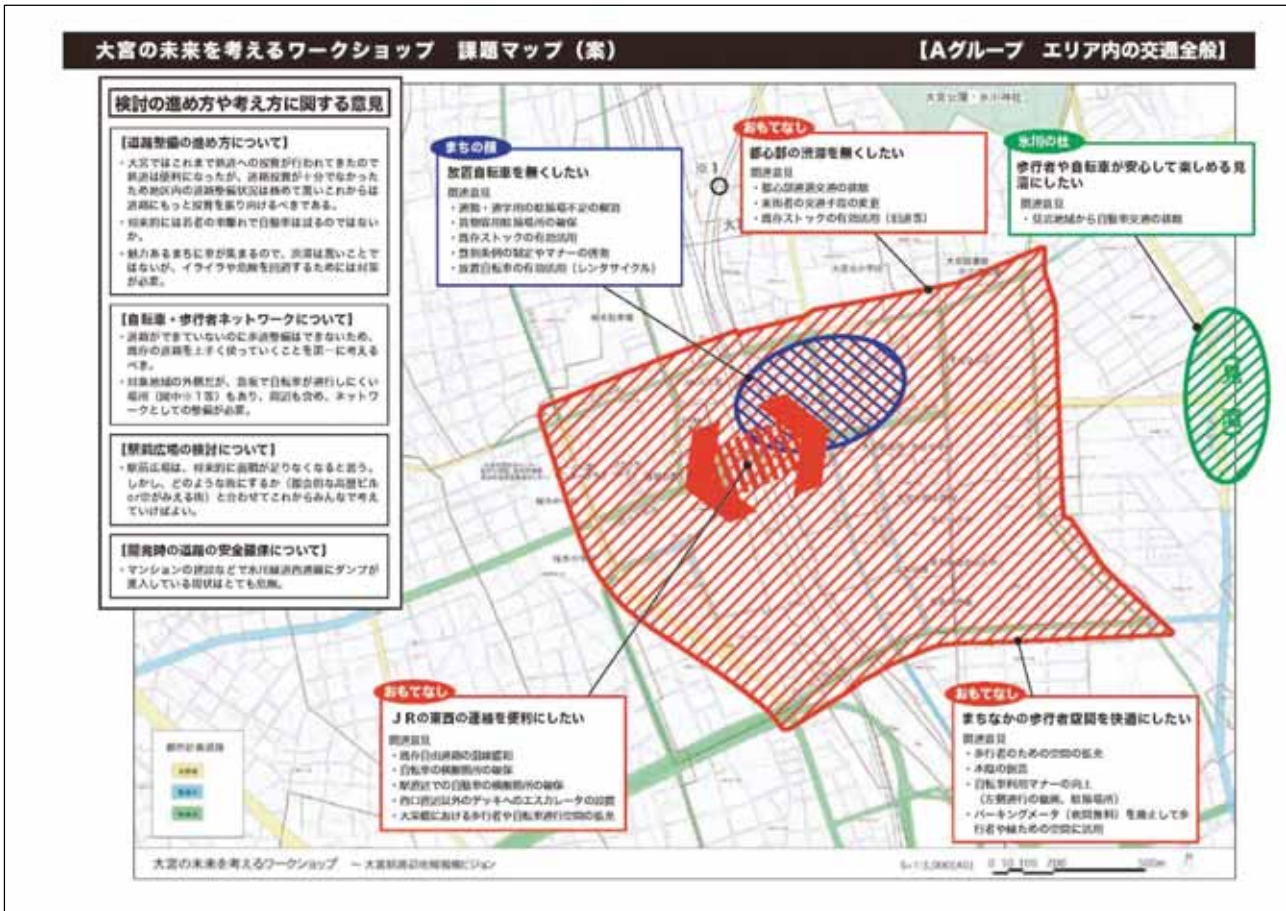
★対話を通じた計画づくり

- ・住民も入った議論を通して計画をつくる(協議型まちづくりのモデルとなる) [C-2]

★実行力のある仕組みづくり

- ・JR が協力してくれるような方法を考える [B]
- ・大胆な規制緩和により駅前地区の再開発を推進する [C-1]
- ・市は定期借地などを活用して土地を提供し、まちづくり会社が施設を建設できるような事業スキームを構築する [C-2]
- ・民間が協力しやすいまちづくり事業の仕組みをつくる [C-2]
- ・国土交通省だけでなく他の省庁の支援も導入しやすい仕組みをつくる [C-2]

◇ Aグループの検討成果（エリア内の交通全般）



Ⅱ. 東西連絡の利便性向上プロジェクト（目標：JRの東西の接続を便利にしたい）

④⑤の課題

- ①大宮駅の自由通路が踏切から始発の間に使えないのが大きい
- ②東口の南側に沿う人口増加に伴い、新たな人の流れが発生している
- ③大宮駅の歩道が狭く自転車が通らない
- ④東武大宮駅ホームの混雑が甚しい
- ⑤池袋線の開通後、自転車によるJ・Rの東西方向の接続確保が大宮駅と南大宮駅間に設定されている

④⑤の対策

(1)Ⅲ 東西自由通路の2.4経路開設

対策の内容：小宮駅や山崎駅のシャワーのように、改札口にシャッターを設置し構内自由通路を構内開放する。歩行者対策は引渡機材が必要。
期待する効果：経路後も東西の往来が可能となる。
事業主体：JR。西いたま市（シャッターの補給）

(2)東西自由通路の新設整備（JR 大宮駅の再整備）

対策の内容：自転車と歩行者を対象とした自由通路をJR 大宮駅と南大宮駅の間の新設する。期待する効果：下町や市街地などマンションの建設により増加した新住民、西口の仮設整備事業の進展に伴う住宅や事業所の立地などで、増加が見込まれる西口（そごう、駅前等）への建物やレンタサイクル利用者の確保を図る。
事業主体：西いたま市

(3)大宮駅の歩道の拡張

対策の内容：大宮駅の歩道幅員を拡張する。
期待する効果：J・Rの高圧下駐輪場利用者の安全確保が図られる。
事業主体：西いたま市

(4)東武大宮駅北口改札の新設

対策の内容：現在のホームでは幅員が狭く踏切等が設置できないため、東武東上線の地下に東武大宮駅を移動し、北口改札を新設する。
期待する効果：東武駅のホームの混雑緩和が図られる。また、北口改札が池袋線との北側の拠点となり、新たな人の流れが生まれ、まちの活性化に寄与することが期待できる。
事業主体：東武鉄道・J・R・西いたま市

(5)北口駅前広場の整備

対策の内容：③と④の再編案として、J・Rの上空に人工地盤を設け、その上を駅前広場として活用する。
期待する効果：
事業主体：東武鉄道・J・R・西いたま市



Ⅲ. 自転車利用環境向上プロジェクト（目標：安全・快適に自転車を利用したい）

④⑤の課題

- ①通勤通学時の自転車混雑が不足（既存駐輪場は片側の歩道で一杯、放棄自転車も多い）
- ②買い物客や学生など目的地が不足（既存駐輪場は通勤通学専用で混雑）
- ③大宮駅東口大門前駐輪場の出口から出発する自転車の混雑が激しく、スピードも遅くはない
- ④大宮駅東口大門前駐輪場の出口から出発する自転車の混雑が激しく、スピードも遅くはない

④⑤の対策

(1)④⑤の利便性向上による駐輪場の確保

対策の内容：既存駐輪場や他施設の上下空室を活用し、不足する駐輪場の確保を自治体力化する。既存駐輪場の立体化：東口駅前広場の駅前駐輪場にて、高層部のお客専用駐輪場の他施設の上下空室活用：第2タクトーブルの立体空室利用（暫定利用）③
期待する効果：放棄自転車の混雑と異物の発生防止の向上。
事業主体：東武鉄道（西いたま市、高層部など）

(2)レンタサイクルの導入

対策の内容：既存駐輪場を家賃にタコノビは通勤・通学客、駅前は東武東上線（池袋からの通勤通学客を誘引）の自転車専用システムを導入する。実用者が利用しやすいように、主要な出口に複数のレンタルポイントを整備する。
期待する効果：1台の自転車を複数の人が利用することで駐輪台数（混雑）を減らし、既存施設を有効に活用する。
事業主体：東武鉄道（西いたま市）

(3)駐輪トラックと密着駐輪場の導入

対策の内容：駅前で見かけた自転車専用トラックを導入。後、利用者は駅周辺の駐輪場まで自転車を持ち寄り、押入。
期待する効果：空いたスペースを一括から駐輪場に活用する。
事業主体：西いたま市

(4)自転車レーンの整備（強線）

対策の内容：自転車利用者が集中する大宮駅東口のパーキングメータの空室を活用して自転車レーンを整備。西いたま駅前から池袋町・大宮公園に至る池袋駅前についても自転車レーンを整備し、自転車レンタルポイントと一体的に活用する。
期待する効果：自転車専用車道とする交通手段の確保。レンタル自転車利用者の安全性の向上。
事業主体：西いたま市

④⑤大宮駅東口大門前駐輪場の出口の新設

対策の内容：現在、下り客で混雑している大宮駅東口大門前駐輪場の出口を池袋通り西側の橋脚に建設。
期待する効果：自転車と歩行者の混雑緩和の防止
事業主体：西いたま市



IV. 見沼の観光振興プロジェクト（目標：見沼の自然を守りたい）

4つの課題

- ①見沼を通過する交通は、「広域的な通過交通」「見沼田んぼ内の住民や事業所等に関連した交通」「見沼に観光で訪れる交通」の3つに分けられる
- ②広域的な通過交通は都市計画道路などの道路整備によって解消する
- ③見沼田んぼの住民等の交通は影響が少ない
- ④観光等で訪れる交通を対象にした対応策が必要

対 策

(1)パークアンドサイクルライドの推進整備

対策の内容：自転車の乗込者は、幹線道路（さいたま春日部線、大宮中央通）と交差する場所にある公園の駐車場に駐車して、見沼田んぼ内は、徒歩や自転車で回遊してもらう。既存・計画中の緑道を活用して、見沼の公園等を連絡する自転車・歩行者ネットワークを構築する。志川緑道や益根村、さいたま新都心駅、大宮駅との連絡を考慮した自転車・歩行者ネットワークとする。自転車利用環境向上プロジェクトで提案したレンタサイクルの運動も考える。移転を表明しているNHKさいたま支局にも見沼の自然をアピールしてもらう。

期待する効果：見沼田んぼ内の自動車交通量の削減と観光客の増加、大宮のアピール

事業主体：さいたま市、観光協会、NHKなど



V. おもてなし歩行空間プロジェクト（目標：まちなかの歩行空間を快適にしたい）

課題点（課題）

- ・都市部通過交通の確保
- ・来客者の交通手段の確保
- ・既存ストックの有効活用（旧道等）

対 策

(1)おもてなし歩行エリアの整備

対策の内容：おもてなし歩行エリアの範囲は南北は16号～片倉新道間・東西はシーノ大宮～志川緑道西端間を基本に、駅を中心とした既存の放射状の環状の道路を含めた範囲。おもてなし歩行エリア内では、自転車の通行は容認し、歩行者のための空間を優先して整備。益根村やその後の維持管理費や、通過交通にもゆっくりに歩を促してもらうため、中山道は地下化する。既存の空間の有効活用が前提。経路迂回を進行規制して、歩行者のための空間の充実や、駅前広場から街区への遊歩ネットワークを築く。

期待する効果：安全で快適に歩きたいのある街の再生。

事業主体：さいたま市、住民、事業所



②くらしのみちゾーンの設置

対策の内容：マンション等の立地により、人口増加が予想される区域では、児童の通学路の安全性や静穏な住環境の確保を考慮した「くらしのみちゾーン」を設定し、歩行者保護を守る。

期待する効果：児童や住民の安全性の確保、静穏な住環境の確保。

事業主体：さいたま市、住民、事業所



③路地のP化

対策の内容：駅から人を出すには街の魅力が地元が出す能力が必要。大宮の路地には良い名前がついたものが多いが、匿名や案内が不足している。駅前への「路地」の専賣付き案内板や通しるべの設置等が必要。特に専賣付き案内は住居が街をきれいにしてもらうという動機づけにもなる。

期待する効果：大宮らしさのアピール、住居が街をきれいにする美化。

事業主体：さいたま市、住民、建設者、経遊事業者

④遊歩空間の整備

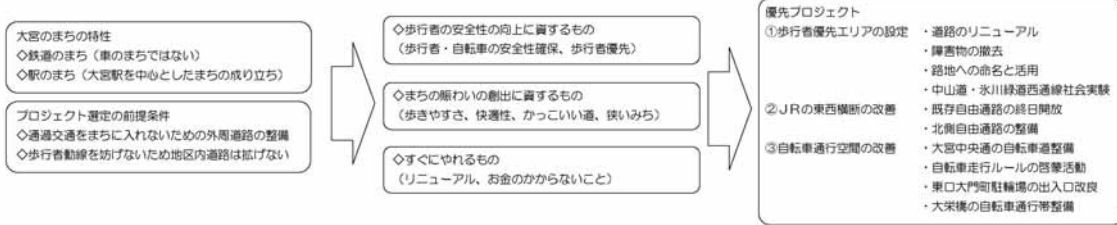
対策の内容：エリアの外側にある大宮駅の北側の再開発に歩道をづくり、水川神社にゆける石道を、御堂堂（こえだ）通りと名付けて歩行者空間として再整備。

期待する効果：街の魅力・多様性の演出。

事業主体：さいたま市、住民



□ プロジェクトの優先順位の考え方



□ 優先プロジェクトの内容

① 歩行者優先エリアの設定

大宮駅を中心に 500～700mの範囲を対象に、歩行者優先エリアを設定し、来街者の安全性と快適性の向上のため、以下の取り組みから着手する。

- ・道路のリニューアル — 明るくてセンスの良い舗装や照明を導入や、植樹による木陰の創出を行い、居心地の良いかっこいい空間を創出する。若者によるまちに活気を与える新規出店が期待できる駅から離れた路地から着手する。
- ・障害物の撤去 — 沿道商店の看板や商品を撤去し歩道を広くする。放置自転車は撤去だけでなく、駐輪方向のマーキングや車両整理員の配置によって、ななめ駐輪を徹底するなど、歩行者への影響を抑えた共存方法についても考えていく。
- ・路地への命名と活用 — 全ての路地に名前（住民主体）をつけて、路地毎に個性を活かした空間づくりを演出する。また、駅やまちかどなどに案内標示を設置し、地元の愛着を育成するとともに、来街者へアピールする。
- ・中山道と水川緑道西通線の社会実験 — 一の宮通りや片倉新道等、東西方向の路地の歩行者動線を妨げないために、中山道と水川緑道西通線を横断しやすくする必要がある。歩道を広げ、車道を狭くする一方通行等の運用方法等について、社会実験で効果や影響を確認しながら進めていく。

② JRの東西横断の改善

- ・既存自由通路の終日開放 — 現在終電～始発までの間は通行できない大宮駅構内自由通路を対象に、セキュリティ上必要な箇所には公的な資金でシャッター等を設置し、24時間使える通路として活用する。

・北側自由通路の整備

③ 自転車通行空間の改善

- ・大宮中央通の自転車道整備

・自転車走行ルールの啓蒙活動

・東口大門町駐輪場の出入口改良

・大栄橋の自転車通行帯整備

- JR横断の自由通路の位置や形態には、様々な可能性があるが、歩行者中心の路地の魅力を活かしたまちという観点からは、銀座通り周辺と同じ路地のまちである第三地区付近を結ぶ自由通路が優先されるべきである。路地のまち、銀座通り～第三地区間の連絡により、人の流れの活性化が期待できる。

- 東口大門町駐輪場の利用者により自転車交通量が多く、歩行者の安全性が脅かされている大宮中央通りにおいては、自転車と歩行者の通行空間の分離が急務である。パーキングメータの空間を転用すれば早期整備が可能である。現在のパーキングメータの利用者は沿道施設利用者だけでなく影響は少なく、荷捌きも時間帯が違い競合しないと考えられるが、社会実験等で効果や影響を確認しながら進めていく。

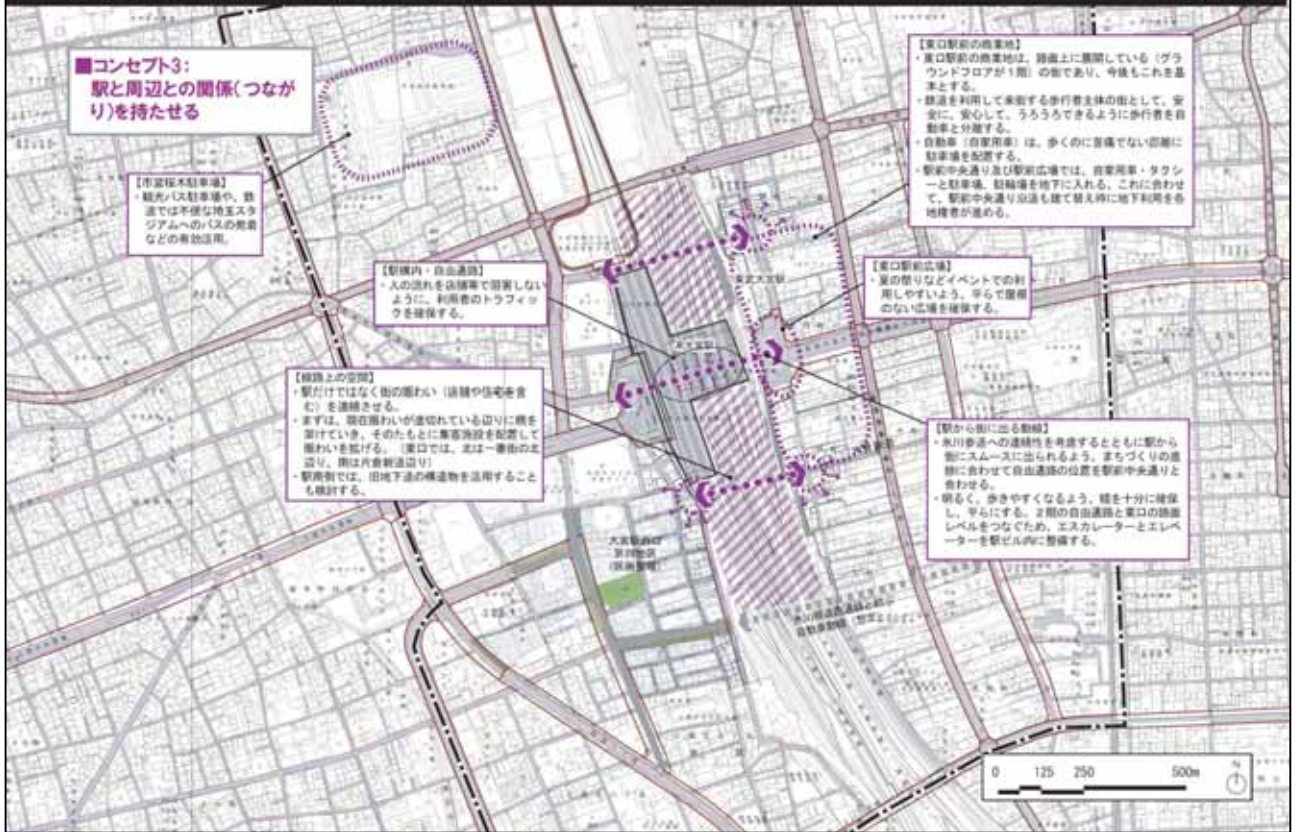
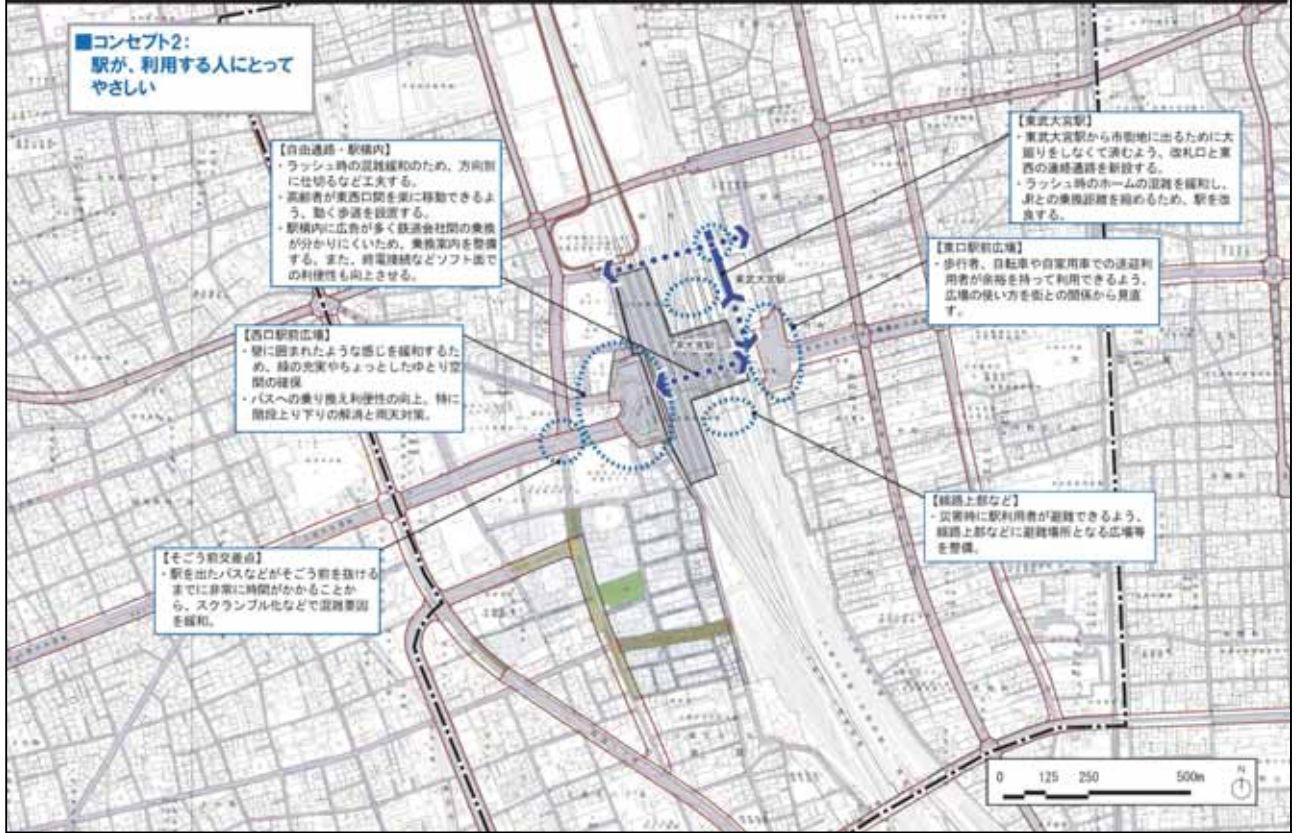
- 歩道上は歩行者優先とし、自転車は原則車道を左側通行することを地区共通のルールとし、標識や路面標示、パンフレット等で周知・啓蒙を進める。

- 駐輪場利用者と歩行者の動線が交錯し、危険性が指摘されている大門町駐輪場の出入口については、大宮区役所の改築等に併せて西通り線側に移す等、見直しが必要である。

- 大栄橋のやや幅広い車道幅員（9m）の運用を見直せば、片側に自転車レーンの整備が可能である。駐輪場の利用者などで自転車利用が多い南側断面を対象に自転車通行帯を整備・活用する。

◇Bグループの検討成果（大宮駅と街との関係）





■優先的に取り組むこと

(★は優先度の投票で貼られたシール1枚を表す；次頁【参考】を参照)

1. 目的を持って来るような施設の配置

(駅周辺全般)

- ・新規施設としてNHK放送局、国際級のホテルやコンベンションを導入する。これらは目的を持って来る施設なので、鉄道利用者の利便性や現状の施設分布を考慮し、駅から250～500m程度に配置する。(★★)

(東口駅前)

- ・駅から外に出歩いてもらうため、駅から出たところに魅力的な施設を配置する。(★★★★)

(大宮中央通線と中山道との交差点周辺)

- ・駅から米川参道までの間で適度な距離で、また商業エリアと業務エリアの境に、駅周辺で不足している広場を確保し、ここに人を集める。(★★)

2. 東武大宮駅の改札口の新設

- ・東武大宮駅から市街地に出るために大廻りをしなくて済むよう、改札口と東西の連絡通路を新設する。(★★★★★)

3. 駅構内から街へ出る動線のスムーズ化

(駅構内・自由通路)

- ・人の流れを店舗等で阻害しないように、利用者のトラフィックを確保する。(★★)

(駅から街へ出る動線)

- ・明るく、歩きやすくなるよう、幅を十分に確保し、平らにする。2階の自由通路と東口の路面レベルをつなぐため、エスカレーターとエレベーターを駅ビル内に整備する。(★★)

4. 線路上の空間の活用

- ・駅だけではなく街の賑わい(店舗や住宅を含む)を連続させる。(★★)
- ・まずは、現在賑わいが途切れている辺りに橋を架けていき、そのもとに集客施設を配置して賑わいを広げる。(東口では、北は一番街の北辺り、南は片倉新道辺り)(★★)

5. 東口駅前広場・中央通り地下の活用

- ・自家用車・タクシーと駐車場、駐輪場を地下に入れる。これに合わせ駅前中央通り沿道も建替え時に地下利用を各地権者が進める。(★★★)

■実現に向けた考え方

優先的に取り組むこと1. 目的を持って来るような施設の配置 について

【優先の考え方】

- ① 家を町に例えると、駅は玄関、道路は廊下になる。であるとすればまずは玄関の整備から進めるべきだ。
- ② 重要度が高いという意味もある。
- ③ スピードの問題ではない。

【進め方】

① 大宮に対するイメージを変える

- 大宮は、単なる交通結節点ではなく、業務や観光など目的をもって来る場所というイメージを持たれることが大事。
- まずは、ビジョンに明記する。

② 主要施設の配置を先に決める。

- NHKが大宮に出て来るという話があるのだから、駅からの距離を考えてどこに置くのが良いか、市や街側が施設の配置の考え方を示す。
- 市は、何か施設が出てくるというきっかけがないと青写真を示せないのではないかと考えているようだが、認識を改めることが必要。
- 道路づめの改善や広場、まとまった土地ができるという青写真をきちんと示せば事業に協力してくれる人は出てくる。例えば、中山道のアンダーパス化と広場整備(異なる意見もあり)
- 短期間で施設の立地が進んだ品川をヒントにして進める。

③ 広場の確保については、できるところから進める。

- 一番街の市有地をまずは広場にして、地元の人がやっているお稽古ごとの発表の場として使ってはどうか。

優先的に取り組むこと2. 東武大宮駅の改札口の新設 について

【優先の考え方】

- 東武は今現在もラッシュ時が危険。さらに乗降客が増えているのではないかとと思われるため、早急に対処が必要。

【進め方】

- JRが協力してくれる方法を考えながら、地元が行政を巻き込んで、東武線沿いの再開発を検討。

- 鉄道事業以外で収益があるようにJRを加えた再開発を実施
- JRに市民の要望(JRが無視できない"熊の御旗")を伝え、テーブルにつくよう行政がリーダーシップを発揮する。

優先的に取り組むこと3. 駅構内から街へ出る動線をスムーズ化 について
優先的に取り組むこと4. 線路上の空間の活用 について

【優先の考え方】

- ① 駅から街へ人を出すためには、まずその源となる駅に注目。
- ② 店舗で言えば、顧客動線とサービス動線がゴッチャになっている状態なので、すぐに改善が必要。
- ③ 線路上の空間の活用は、現自由通路の改良で混雑が改善できない場合の次善の策

【進め方】

- ① 基本的に、鉄道事業者の協力が不可欠。
- ② そこでまず、戦略ビジョンに明記する
- ③ JR・東武のしかるべき部署に伝える
 - 鉄道事業者やデベロッパー部門など、JR・東武の組織を知る
 - 市にJR交渉の専門担当を設置
- ④ JR・東武から回答を得たらうして調整
- ⑤ 地元は、鉄道事業者と共に街をつくる意気込みで取り組む(大宮は鉄道の街なので)

優先的に取り組むこと5. 東口駅前広場・中央通り地下の活用 について

【優先の考え方】

- ① 今現在、駐輪場が足りなくて放置されているので改善が必要。
- ② 地上で空間が不足するのであれば地下を活用

【進め方】

- 駅に対しても、駐車場や駐輪場の附置義務制度を検討する。

【参考】第5回意見交換会におけるグループの議論の手順

- ① 第4回までの成果である「まちづくりコンセプト」を確認
- ② 優先的に取り組むコンセプト(群)を選定
 - ・まちづくりコンセプトの中から、メンバーが1人3つずつ、優先度の高いコンセプトを選定。シールを用いて投票。
 - ・2人以上が選定したコンセプトを、内容の似たものでグルーピング
- ③ 優先的に取り組むコンセプト(群)について、なぜ優先なのか、また、誰がどう進めるべきかを議論

◇C-1グループの検討成果（多様性のあるまちづくり）

大宮の未来を考えるワークショップ 課題マップ（案） **【C-1グループ 多様性のあるまちづくり】**

「多様性のあるまちづくり」検討のテーマ

■テーマ1：大宮の良さを活かしたまちづくり（まちづくりのコンセプト）
 【検討の検討課題】
 ・大宮の良さを維持できるまちづくり
 ・「良いまち」と自覚できるまち、世代を跨いで住み続けられるまち、他から人々が移り住んで来たくなるまちのイメージ

■テーマ2：都市機能
 【検討の検討課題】
 ・駅周辺をよりよい生活圏にする
 ・駅周辺をよりよい生活圏にする
 ・大宮の個性を活かしたまちづくり
 ・駅周辺をよりよい生活圏にする

■テーマ3：空間のつくり方やあり方
 ① おもてなしあふれるまちのつくり
 【検討の検討課題】
 ・まちの顔にふさわしい空間環境（景観整備）
 ・大宮の個性や魅力を活かしたまちづくり
 ・まちの広がり、歩行者の誘引

② おもてなしの歩行者空間づくり
 【検討の検討課題】
 ・駅前広場の内側や外側の歩行者空間（歩行者専用道、歩行者専用道）
 ・駅前広場のサービスエリアの工夫
 ・駅前広場のあり方（駅に近接した歩行者専用道、自転車専用道）
 ・歩行者ネットワークの形成（駅前広場、駅前広場）

③ 輝くまちのまちづくり
 【検討の検討課題】
 ・駅前広場のあり方（駅前広場の整備）
 ・駅前広場のあり方（駅前広場の整備）
 ・駅前広場のあり方（駅前広場の整備）

■テーマ4：まちの顔の実現方法とまちの運営
 【検討の検討課題】
 ・まちの顔を実現するための方法（まちづくり、まちづくり）
 ・まちの顔を実現するための方法（まちづくり、まちづくり）
 ・まちの顔を実現するための方法（まちづくり、まちづくり）

検討の対象となる個別の場所に関する意見

- 【大門1～3丁目地区】**
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
- 【大宮中央通り】**
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
- 【中山道】**
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

【真口駅前広場】
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

大宮の未来を考えるワークショップ → 大宮駅前広場整備センター

C-1グループ まちづくりコンセプト **【C-1グループ：多様性のあるまちづくり】**

■駅前から街に人を流すために「街の魅力」を創出する（【駅】→【駅ビル】→【駅前】→【街なか】）
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

■駅周辺をよりよい生活圏にする
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

■大宮（さいたま）らしいまちづくり（ランドマークやシンボリックな空間）
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

【駅前】
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

【駅前ビル】
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

【駅前】
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

【街なか】
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要
 ・駅前広場の整備が重要

大宮の未来を考えるワークショップ → 大宮駅前広場整備センター

まちづくりコンセプトの実現に向けて

[C-1グループ 多様性のあるまちづくり]

戦略の具体化に当たって優先的、重点的にやるべきことは何か？

地元で困っていること

- ・街区内にまちづくりに参加している人が多くても、一方で最初から話し合いのテーブルにつかない、まったく興味のない人がいる
- ・自分の土地を他人が利用することへの抵抗感が強い
- ・面倒なので、または失敗が怖いのでこのままでいいという人がいる
- このままでは合意形成が進まない、まちづくりも進まない

【解決方法1】
地権者の合意形成を促進する起爆剤の導入

【解決方法2】
個々の事情に合わせて少しずつ進める

合意形成促進の起爆剤(案)

- 「まちが変わる」という事例の提示(優良プロジェクト)
 - 公共施設の再編(区役所、大宮小、市民会館、他)
 - 中央デパート北側の市有地の再編
 - 駅前のお朽化しているビルの撤去
 - NHKの誘致(→大宮2丁目、区役所跡地、市民会館跡地)
- 大胆な規制緩和(容積率、規制等)(推進戦略)
 - 高層、駅前ビル、駅前広場の一体開発に適用し、駅前を特別な場所にして、コンペを開催し、新しい高度商業集積エリアを形成する
- 行政による指導強化(消防、建築、道路等)(推進戦略)
 - 耐震性、防火性が低い老朽建物や消防車両が入れない狭い路地等、安心安全なまちをつくる上で課題の多い東口市街地を、行政指導を強化することで改善する

個々の事情に合わせて少しずつ進める(案)

- 土地利用のルール(土地の性格や用途)を決めておく(推進戦略)
 - 地権者はそのルールに基づいて、それぞれが自分の身に合った開発を自分たちのペースで進めていく

その他のアイデア

- すぐ効果が出る取り組みで、まちのイメージを変える(推進戦略)
 - 壁面、屋上など建物緑化の義務づけ、駐輪場整備(※緊急課題)
- まちづくり人材の育成(開発事業者側、市民側)(推進戦略)

駅前街区(高島屋街区～ロフト街区)

- 大胆な規制緩和(容積率、規制等)
- 「まちが変わる」という事例の提示
 - 高層級の商業集積エリアを形成し、駅前を特別な場所(まちの顔)にして、まち全体を活性化させる
 - 大胆な規制緩和により既得権を破り、新しい風を入れる。外から新しい資本(企業)を導入し、まちの刷新に新しい企業力を活用する
 - 小規模な地権者も再開発に参加するメリットを感じられるようにして、積極的な参加を促す
 - ※商業施設だけでなく高層教育施設、公共施設も入れる

大宮2丁目、大宮区役所～県会館庁舎(公共施設再編)

- 「まちが変わる」事例の提示
 - ※大宮2丁目の市有地(種地)の再編
 - NHKを誘致
 - 交通ターミナルを整備
 - ※大宮小学校を含め、区役所、市民会館等の再編
 - 市民会館敷地にNHKの誘致
 - 区役所と大宮小学校の敷地に交通施設(バス停、バスターミナル、レンタサイクル等)やコンベンションホール、貸ホール、貸会議室、演習場、大型家具店(イケア)、アウトレット等を新規導入

東口市街地全貌

- 土地利用のルール(性格や用途)を決める
 - ルールに基づいて、地権者それぞれが自分の身に合った開発を進める
 - 出来ることから、土地を少しずつまとめていき、まちづくりに興味のない人の気持ちを安めていく
 - 個々の地権者の体力に合った再開発をきめ細かく進める

東口市街地全貌

- 行政による指導強化(消防、建築、道路等)
 - 耐震性や防火性の低い建物(老朽建物)消防車が入れない幅員の狭い道路等、まちの色映を行政の方で改善する
 - 「東日本の顔」に相応しい、安心で安全なまちをつくる

東口市街地全貌

- まちづくり人材の育成
 - 事業者側、市民側ともに、まちづくりに積極的に関わり、人々をまとめていく「熟い人材」を育てる

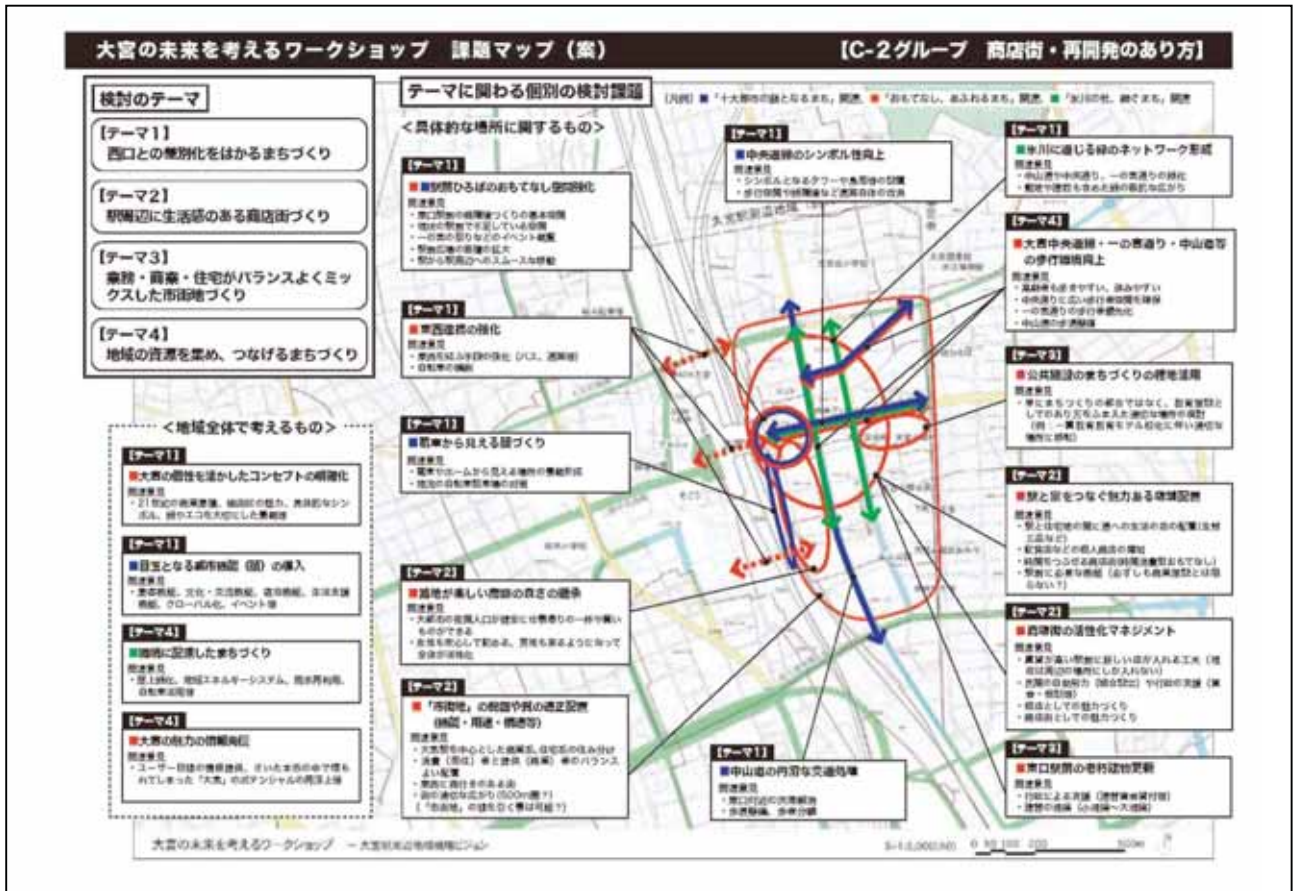
東口市街地全貌

- すぐ効果の出る取り組みで、まちのイメージを変える(緑化、違法駐輪対策)
 - ビードアイランド対策として、壁面や屋上の緑化等に関する決りごとを作る
 - ルールは新しいビルにも古いビルにも適用し、早期に効果を得る
 - アーケードを撤去した駅前通り商店街などに駐輪場を整備し、盗難自転車をまちからなくす

大宮の未来を考えるワークショップ ～大宮駅周辺地域戦略ビジョン

5=13,000(A4) 0 50 100 200 500m

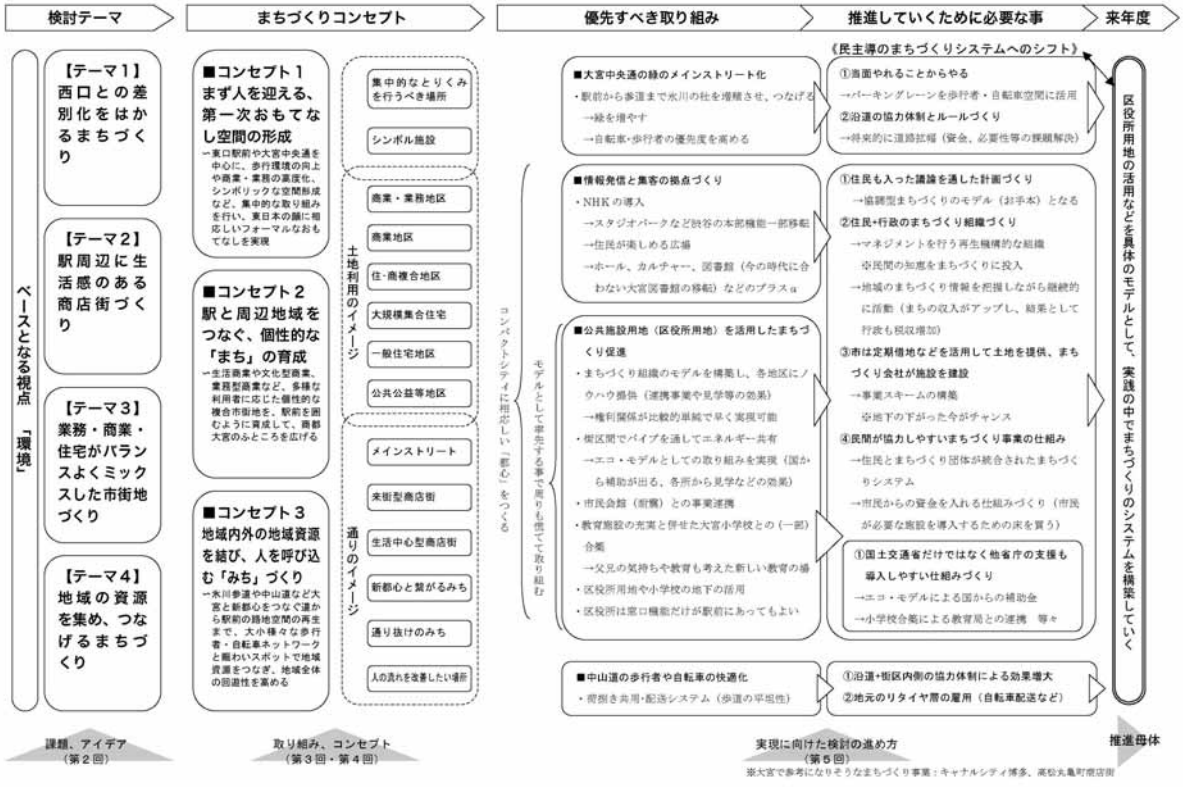
◇C-2グループの検討成果（商店街と再開発のあり方）



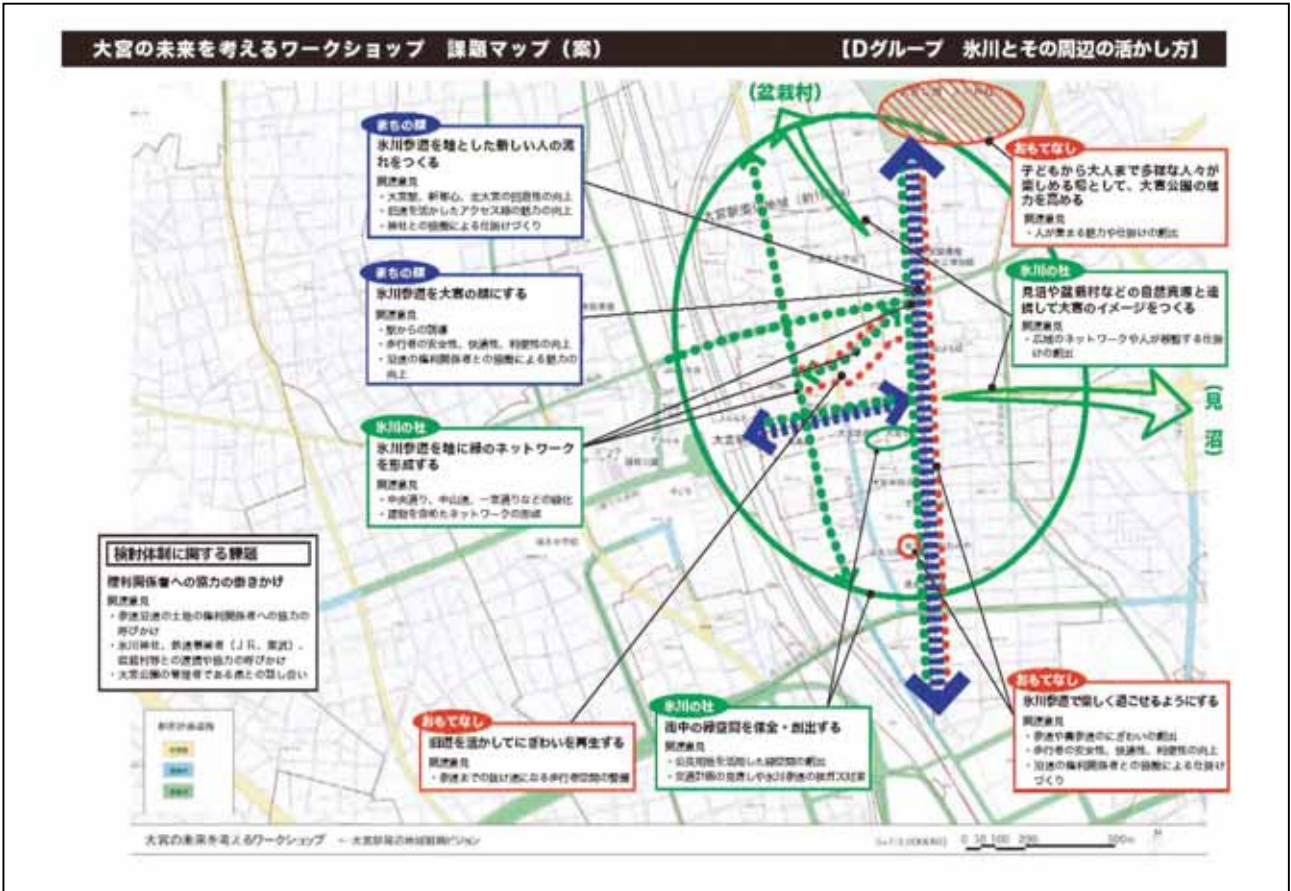
6. 検討の経緯

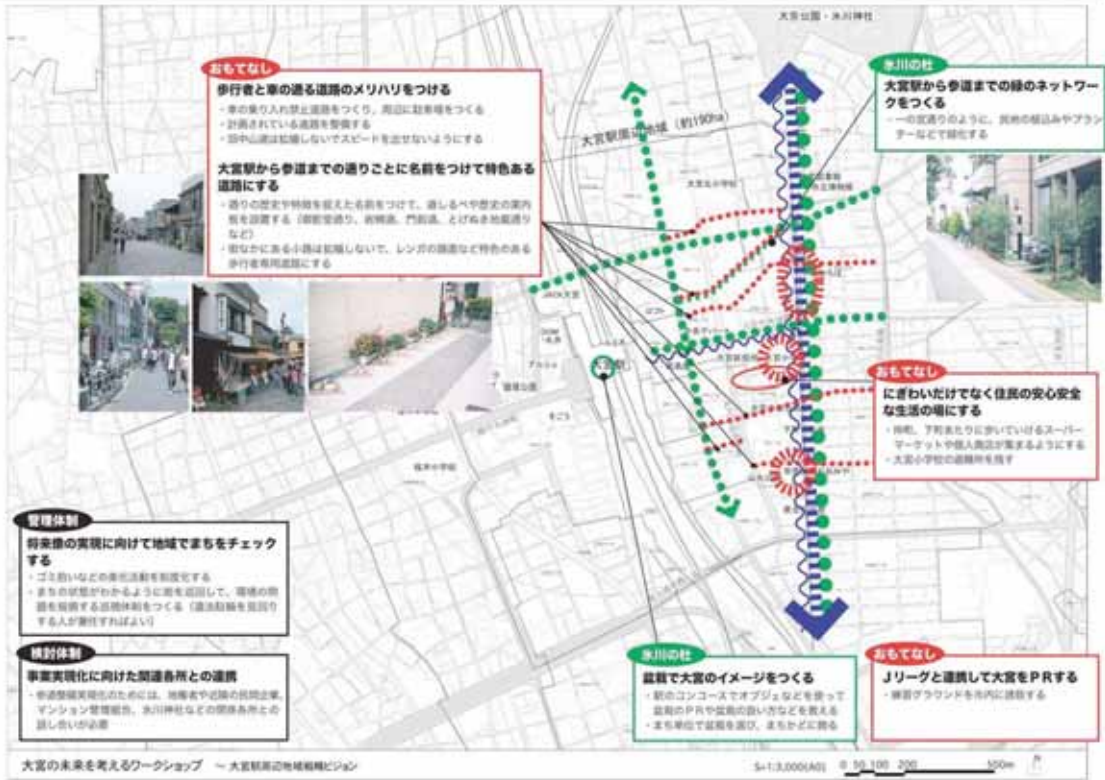
C-2グループ：商店街と再開発のあり方

10.01.30 第5回 大宮の未来を考えるワークショップ



◇Dグループの検討成果（参道中心のまちづくり）





参道を活かす！シンボルロードにする ～参道中心のまちづくり～

○ 基本的な考え方

- <背景>
 - 参道は山手（商業地）と下町（住宅地）の接点にする
 - 参道周辺の神社、大宮公園、参道神社などを活かして大宮駅以外にも人を呼び込む
 - 大宮駅だけがまわって土地価値の活性化につながらない
 - 参道を大宮の顔にする

大宮駅だけではなく、参道を中心とした
農行き、ひろがりあるまちにする

○ すぐに取り組むこと

平成広場で定期市を開催する

- 年1〜2回の平日だけでなく、毎月10日に定期市を開催する
- テーマ性や季節感のあるイベントにする
- アートフェスティバルは隔日1〜2回開催する

市民は、
・定期市に参加（出店）
・商業者の出店呼び込み

市民会館をおみやを芸術館にする

- ミクニタワー、美術館、マンガ館、企業などが多様な美術館と商業の市民芸術センターにする（館外展示にも活用する）
- 劇場や演劇団などが民アーテスタジオやアマチュアバンドの活躍の場にする
- カフェで飲食しながら楽しむようにする
- 企業の練習を季節ごとにつなげるようにする

市民は、
・独特の劇場空間、演劇会への参加
・市民ボクシングなどで練習の場

みんなが集う大宮小学校にする

- 多摩川をアーティファクトに活用して小学生にアートに触れさせる
- 市民が小学校の講師になる
- 校庭を芝生にして開放する

市民は、
・小学校の講師

参道をやすらぎのある空間にする

- 参行き専用道路にする
- 信号をストランブル交差点にする（参道の一元化）
- 木のせせらぎを参道に誘う

○参道を中心とした新しい人の流れが生まれる
○参道周辺に人が集まり活気ある場になる
○人の流れが生まれれば、新しい商店が集まってきてさらに活気づく

永川参道を歩行者専用道路にするための段階的な考え方

○ 基本的な考え方

- 参道に南大宮駅前から商業道路に接する車の交通が過度に集中しているので、交通渋滞を解消して、なるだけ分散させる
- 自動車優先がよくなる周辺の環境面の悪影響が心配である
- 周辺の生活道路の負担が大きくなるようにしない

○ 対策

- 参道に平行して計画されている永川緑道西側を早急に整備する
- 南大宮駅側の参道幅を狭くして、その広道の利用者が進入しやすくする
- ある程度、南北方向の交通量が分散した段階で、歩行者専用道路化の社会実験を実施する



大宮駅周辺地域戦略ビジョンに関する問い合わせ先

さいたま市 都市局 都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所

〒330-8501 さいたま市大宮区大門町3丁目1番地 大宮区役所東館2F

TEL : 048-646-3289 / 3290 FAX : 048-646-3292

E-mail : omiya-higashi-machidukuri@city.saitama.lg.jp